



2026 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ ネ ー フ ォ ワ ー ド
代 表 者 名 代表取締役社長グループ CEO 辻 庸 介
(コード番号：3994 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員グループ CFO 長尾 祐美子
(TEL. 03-6453-9160)

特別利益、特別損失及び営業外費用の計上並びに
2025 年 11 月期における業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2025 年 11 月期第 4 四半期連結会計期間（2025 年 9 月 1 日～2025 年 11 月 30 日）において、特別利益、特別損失及び営業外費用を計上するとともに、2025 年 11 月 4 日に公表した 2025 年 11 月期の通期業績予想（2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日）と本日公表の実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

2025 年 7 月 22 日付にて公表いたしました適時開示書類「（開示事項の経過）合併事業に関する最終契約締結のお知らせ」において、本件契約の締結に伴って当期連結業績へ与える影響は軽微なものとしておりましたが、開示後の決算確定プロセスにおいて持分変動利益の会計処理に変更が生じたことにより、本出資に伴い、2025 年 11 月期第 4 四半期連結会計期間に 2,046 百万円の持分変動利益を特別利益として計上いたしました。これは、株式会社三井住友銀行による増資引受価額が当社の連結帳簿価額を上回る評価で行われたことに起因して、当社の本合併会社に対する持分額が増加したことによるものです。

2. 営業外費用および特別損失の計上について

(1) 投資有価証券評価損の計上（個別決算・連結決算）

当社が保有する投資有価証券の一部について、投資先企業の事業計画及び直近の業績推移等を精査し、実質価額を評価した結果、取得価額と比較して著しく下落したため、2025 年 11 月期第 4 四半期連結会計期間において、減損処理による投資有価証券評価損 635 百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 関係会社株式評価損の計上（個別決算・連結決算）

当社が保有する関係会社株式の内、以下の 2 社（連結子会社 1 社、持分法適用関連会社 1 社）について実質価額が著しく低下したことから、2025 年 11 月期第 4 四半期連結会計期間において減損処理を行いました。

(ア) 株式会社 Biz Forward（個別決算）

連結子会社である株式会社 Biz Forward の株式について、当社が保有する同社株式の実質価額が著しく低下したため、減損処理を実施し、関係会社株式評価損 652 百万円を特別損失として計上いたしました。なお、個別決算における関係会社株式評価損は連結決算では消去されるため、連結業績に与え

る影響はありません。

(イ) 株式会社 susten キャピタル・マネジメント（個別決算・連結決算）

持分法適用関連会社である株式会社 susten キャピタル・マネジメントの株式について、当社が保有する同社株式の実質価額が著しく低下したため、減損処理を実施し、関係会社株式評価損 994 百万円を特別損失として計上いたしました。なお、連結決算においては、持分法の会計基準に基づき持分法による投資損失 476 百万円を営業外費用として計上いたしました。

(3) 貸倒引当金繰入額の計上（個別決算）

当社連結子会社であるマネーフォワード i 株式会社に対する貸付金につきまして、回収可能性を慎重に検討した結果、2025 年 11 月期第 4 四半期連結会計期間において貸倒引当金繰入額 1,086 百万円を営業外費用として計上いたしました。なお、個別決算における貸倒引当金繰入額は連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 2025 年 11 月期における業績予想と実績の差異について

(1) 2025 年 11 月期業績予想との差異（2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日）

	売上高	SaaS ARR	調整後 EBITDA※1	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表 予想 (A)	百万円 49,000 ～51,600	百万円 39,180 ～41,160	百万円 2,400 ～4,400	百万円 △4,800 ～△2,400	百万円 △5,500 ～△3,100	百万円 △1,400 ～1,000	円 △25.41 ～18.15
実績 (B)	50,349	39,333	4,963	△2,653	△3,877	1,587	28.78
増減額 (B-A)	+1,349 ～△1,251	+153 ～△1,827	+2,563 ～+563	+2,147 ～△253	+1,623 ～△777	+2,987 ～+587	+54.19 ～+10.63
増減率 (%)	+2.8% ～△2.4%	+0.4% ～△4.4%	+106.8% ～+12.8%	-	-	- ～+58.7%	- ～+58.7%
(参考) 前年実績	40,363	30,003	1,864	△4,735	△5,353	△6,330	△116.32

※1 調整後 EBITDA=EBITDA(営業利益+償却費+営業費用に含まれる税金費用+株式報酬費用)+M&A 関連の一時費用+その他一時費用

※2 当社は 2025 年 3 月 31 日および 11 月 4 日に業績予想の修正を発表しており、「前回発表予想 (A)」は 11 月 4 日に発表した業績予想です。

(2) 差異の理由

連結売上高および SaaS ARR は連結業績予想のレンジ内にて着地しております。調整後 EBITDA および営業利益においては、生産性向上に向けて投資規律の強化を徹底したことによりコスト効率が改善し、調整後 EBITDA は連結業績予想の上限を上回る着地、営業利益は上限付近での着地となりました。経常利益においても、調整後 EBITDA および営業利益に記載の要因により、連結業績予想の上限付近での着地となっております。

親会社株主に帰属する当期純利益及び 1 株当たり当期純利益につきましては、「1. 特別利益の計上について」に記載の通り、2025 年 11 月期第 4 四半期において持分変動利益 2,046 百万円を特別利益に計上したため、当期純利益が前回発表予想の上限を上回る着地となりました。

以上